



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月28日

上場会社名 株式会社テラプローブ 上場取引所 東
 コード番号 6627 URL <http://www.teraprobe.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 雄一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO (氏名) 神戸 一仁 (TEL) 045-476-5711
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績 (平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	4,116	△28.4	353	△49.3	350	△49.8	156	△66.4
28年3月期第1四半期	5,752	14.4	697	2,004.4	698	2,372.5	465	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △260百万円(-%) 28年3月期第1四半期 799百万円(5,326.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	16.83	—
28年3月期第1四半期	50.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	36,821	23,302	55.1
28年3月期	35,834	23,653	57.0

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 20,290百万円 28年3月期 20,421百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—

3. 平成29年3月期第2四半期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

当社グループが属する半導体業界は市場環境が短期間に変化するという特徴があり、1年間の業績予想を作成することが困難であります。従いまして、当社グループの連結業績予想につきましては、翌四半期の業績予想のみを開示することといたします。詳細は、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、通期業績予想を作成することが困難であるため、配当予想については開示いたしておりませんが、開示できるようになりましたら適時、公表することといたします。

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,550	△22.5	750	△52.7	710	△54.3	240	44.9	25.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年3月期1Q	9,282,500株	28年3月期	9,282,500株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	145株	28年3月期	145株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年3月期1Q	9,282,355株	28年3月期1Q	9,282,367株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、決算補足説明資料を当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、年初からの円高進行の中、政府の経済政策や日銀による積極的な金融緩和策が継続されましたが、4月中旬に発生した熊本地震の被害により足許の景気は下押しされました。

海外においては、引き続き新興国経済が鈍化しており、また欧州においても、6月下旬の英国での国民投票の結果を受け、英国のEU離脱による世界経済への影響に対し懸念が広がるなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する半導体業界におきましては、スマートフォンの成長がグローバルで鈍化傾向にあることなどから、需要が弱含む状況が継続いたしました。

このような状況の下、当社グループの売上高は、ウエハレベルパッケージに関する事業の譲渡やシステムLSI事業の生産拠点である九州事業所における震災の影響により、前四半期と比較して減少いたしました。

その結果、当第1四半期における当社グループの売上高は4,116百万円(前年同期比28.4%減)、営業利益は353百万円(前年同期比49.3%減)、経常利益は350百万円(前年同期比49.8%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、日台租税協定の発効に伴い繰延税金負債の取崩しを実施したこと等により156百万円(前年同期比66.4%減)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。なお、セグメント別の業績には連結調整額、為替換算レート調整額及びセグメント別に配分されない費用を含んでおりません。

① メモリ事業

当第1四半期のメモリ事業は、前四半期と比較して、国内におけるモバイル向け受託量の減少や生産ミックスの変化による悪影響が、台湾におけるモバイル向け受託量拡大の影響を上回りました。このため、費用の削減を進めたものの、売上高、利益ともに減少いたしました。

これらの結果、当第1四半期のメモリ事業の売上高は2,846百万円(前年同期比18.7%減)、セグメント利益は739百万円(前年同期比16.6%減)となりました。

② システムLSI事業

当第1四半期のシステムLSI事業は、前四半期と比較して、国内においては、ウエハレベルパッケージに関する事業の譲渡(注)に伴う影響に加え、熊本地震の影響による一時的な工場の停止や、被災した一部顧客からの受託量減少により、売上高が減少いたしました。一方、台湾においては、受託量の増加により売上高が過去最高となりました。

これらの結果、当第1四半期のシステムLSI事業の売上高は1,341百万円(前年同期比36.0%減)、セグメント損益は32百万円の損失(前年同期は165百万円の利益)となりました。

(注) ウエハレベルパッケージに関する事業は、会社分割により新会社に承継させたいうで、全株式を平成28年4月1日付でアオイ電子株式会社に譲渡いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は36,821百万円となり、前連結会計年度末比987百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が1,235百万円、有形固定資産が1,300百万円それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が1,186百万円、投資その他の資産が234百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は13,518百万円となり、前連結会計年度末比1,338百万円の増加となりました。これは主に、設備投資資金の調達で長期借入金が1,083百万円、リースでの検査装置の調達に伴いリース債務が506百万円それぞれ増加したことによるものです。

純資産は23,302百万円となり、前連結会計年度末比350百万円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が156百万円増加しましたが、一方で為替相場の変動の影響により、為替換算調整勘定が290百万円、非支配株主持分が223百万円それぞれ減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は8,408百万円となり、前連結会計年度末比1,335百万円の増加となりました。

当第1四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,766百万円の純収入(前年同期比68.9%の収入増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益311百万円、減価償却費1,209百万円、売上債権の減少1,067百万円などにより資金が増加した一方、仕入債務の減少421百万円、法人税等の支払299百万円により資金が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,339百万円の純支出(前年同期比4.6%の支出増)となりました。これは主に、事業譲渡による収入596百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出3,268百万円があったことにより資金が減少したためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,003百万円の純収入(前年同期比108.2%の収入増)となりました。これは主に、設備投資資金の調達等で借入金による収入が長短合わせて2,241百万円、セール・アンド・リースバック取引による収入762百万円があったことにより資金が増加した一方、借入金の返済による支出が長短合わせて599百万円、リース債務の返済による支出が307百万円あったことにより資金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期第2四半期における半導体市場につきましては、中国・アジアの半導体等電子部品の在庫調整などから、引き続き需要が鈍化傾向にあると予想されます。

このような状況のもと、前四半期と比較して、第2四半期の売上高は、メモリ事業では生産ミックスの変化による減少が見込まれるものの、システムLSI事業では震災による落ち込みから回復が進むため増加を予想しております。また、修繕費や減価償却費、季節要因による用力費などの費用が増加するものと予想しております。

これらの結果、当社グループの第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が8,550百万円、営業利益が750百万円、経常利益が710百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は240百万円と予想しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,573,604	7,808,816
受取手形及び売掛金	5,158,753	3,972,270
有価証券	4,000,000	4,000,000
製品	25,325	10,951
仕掛品	231,006	198,878
原材料及び貯蔵品	184,295	62,526
その他	900,436	988,647
流動資産合計	17,073,422	17,042,090
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,167,994	2,658,625
機械装置及び運搬具(純額)	10,579,059	10,100,707
建設仮勘定	2,272,639	4,786,810
その他(純額)	1,570,309	1,344,693
有形固定資産合計	17,590,002	18,890,837
無形固定資産	284,793	237,101
投資その他の資産		
その他	885,986	651,479
貸倒引当金	△91	△91
投資その他の資産合計	885,895	651,387
固定資産合計	18,760,691	19,779,326
資産合計	35,834,113	36,821,417

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,369,777	947,866
短期借入金	987,037	1,050,797
1年内返済予定の長期借入金	40,000	80,000
リース債務	800,737	790,908
未払法人税等	382,099	182,505
賞与引当金	484,546	335,920
事業譲渡損失引当金	175,408	-
その他	2,152,866	2,926,741
流動負債合計	6,392,473	6,314,739
固定負債		
長期借入金	4,109,817	5,193,320
リース債務	842,667	1,349,031
退職給付に係る負債	232,556	238,505
その他	602,827	422,879
固定負債合計	5,787,868	7,203,737
負債合計	12,180,341	13,518,477
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,823,312	11,823,312
資本剰余金	11,380,267	11,380,267
利益剰余金	△2,860,414	△2,704,166
自己株式	△128	△128
株主資本合計	20,343,037	20,499,285
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	192,241	△98,230
退職給付に係る調整累計額	△113,375	△110,511
その他の包括利益累計額合計	78,866	△208,742
新株予約権	35,608	39,903
非支配株主持分	3,196,260	2,972,493
純資産合計	23,653,772	23,302,940
負債純資産合計	35,834,113	36,821,417

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	5,752,110	4,116,091
売上原価	4,404,284	3,261,528
売上総利益	1,347,825	854,562
販売費及び一般管理費	650,110	501,011
営業利益	697,715	353,550
営業外収益		
受取利息	2,068	1,245
受取保険金	-	30,119
設備賃貸料	15,919	28,157
その他	18,681	16,989
営業外収益合計	36,670	76,512
営業外費用		
支払利息	25,136	20,420
持分法による投資損失	-	22,368
貸与資産減価償却費	3,982	19,403
その他	7,158	17,228
営業外費用合計	36,277	79,420
経常利益	698,107	350,642
特別利益		
固定資産売却益	43,371	5,177
特別利益合計	43,371	5,177
特別損失		
固定資産除却損	1,901	1,141
減損損失	22,367	43,519
特別損失合計	24,269	44,660
税金等調整前四半期純利益	717,209	311,158
法人税等	123,531	5,048
四半期純利益	593,678	306,110
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	465,296	156,248
非支配株主に帰属する四半期純利益	128,381	149,862
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	204,659	△569,554
退職給付に係る調整額	1,061	2,863
その他の包括利益合計	205,721	△566,690
四半期包括利益	799,399	△260,579
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	570,735	△131,360
非支配株主に係る四半期包括利益	228,664	△129,219

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	717,209	311,158
減価償却費	1,341,172	1,209,132
減損損失	22,367	43,519
株式報酬費用	8,127	4,295
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△21,089	5,949
賞与引当金の増減額(△は減少)	△120,383	△40,243
事業譲渡損失引当金の増減額(△は減少)	-	△175,408
受取利息	△2,068	△1,245
支払利息	25,136	20,420
設備賃貸料	△15,919	△28,157
受取保険金	-	△30,119
持分法による投資損益(△は益)	-	22,368
固定資産除売却損益(△は益)	△41,469	△4,035
売上債権の増減額(△は増加)	△462,751	1,067,960
たな卸資産の増減額(△は増加)	△91,378	△44,696
仕入債務の増減額(△は減少)	235,006	△421,869
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△149,180	△15,894
その他の流動負債の増減額(△は減少)	189,531	237,394
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△3,608	△22,682
その他	20,766	△36,659
小計	1,651,468	2,101,186
利息の受取額	2,472	1,534
利息の支払額	△25,475	△20,365
損害賠償金の支払額	-	△48,399
補助金の受取額	5,215	2,841
保険金の受取額	-	30,119
法人税等の支払額	△280,331	△299,936
事業構造改善費用の支払額	△307,149	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,046,198	1,766,979
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,000,000	△1,900,000
定期預金の払戻による収入	2,000,000	2,000,000
有形固定資産の取得による支出	△2,407,434	△3,268,099
有形固定資産の売却による収入	167,462	252,641
無形固定資産の取得による支出	△14,893	△17,578
設備賃貸料の受取額	19,103	27,430
事業譲渡による収入	-	596,547
その他	△128	△30,557
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,235,889	△2,339,615

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	600,000
短期借入金の返済による支出	△40,000	△480,000
長期借入れによる収入	2,876,127	1,641,867
長期借入金の返済による支出	△2,115,712	△119,548
自己株式の取得による支出	△43	-
リース債務の返済による支出	△734,278	△307,036
セール・アンド・リースバック取引による収入	965,400	762,958
非支配株主への配当金の支払額	△189,222	△94,548
財務活動によるキャッシュ・フロー	962,269	2,003,692
現金及び現金同等物に係る換算差額	53,256	△95,844
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△174,164	1,335,211
現金及び現金同等物の期首残高	6,880,013	7,073,604
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,705,849	8,408,816

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	合計 (注)2
	メモリ事業	システム LSI事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,502,900	2,094,325	5,597,225	154,884	5,752,110
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,502,900	2,094,325	5,597,225	154,884	5,752,110
セグメント利益	886,740	165,200	1,051,940	△354,225	697,715

(注) 1. セグメント利益の調整額△354,225千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△430,291千円、連結消去44,985千円、円換算に用いた為替相場の相違による差異調整額31,080千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに属していない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「メモリ事業」及び「システムLSI事業」において、当初予定していた用途での利用見込みがなくなった固定資産について、処分予定資産として帳簿価額を回収可能額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては、「メモリ事業」で9,367千円、「システムLSI事業」で12,999千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	合計 (注)2
	メモリ事業	システム LSI事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,846,663	1,341,341	4,188,004	△71,913	4,116,091
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,846,663	1,341,341	4,188,004	△71,913	4,116,091
セグメント利益	739,736	△32,131	707,605	△354,054	353,550

(注) 1. セグメント利益の調整額△354,054千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△392,732千円、連結消去58,795千円、円換算に用いた為替相場の相違による差異調整額△20,118千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに属していない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「メモリ事業」において、当初予定していた用途での利用見込みがなくなった固定資産について、処分予定資産として帳簿価額を回収可能額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては、「メモリ事業」で43,519千円であります。